

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	2年A巡	単元	学科	教科名	エンジン整備A	
科目	自動車整備関連	教科書等 持参品	二級自動車整備士（総合）		発行日	2026年4月1日
総時限	12時限		科目別標準問題		教科 担当	石田圭佑
総時間	19.2時間		クロームブック			
単位数	1					
<b>1. 実務経験のある教員による授業科目 該当</b>						
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造、作動について指導する。						
<b>2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>①エンジンの潤滑装置の概要、構造、機能を理解する。</li> <li>②エンジンの冷却装置の概要、構造、機能を理解する。</li> <li>③エンジンの燃料装置の概要、構造、機能を理解する。</li> <li>④エンジンの吸排気装置の概要、構造、機能を理解する。</li> <li>⑤エンジンの電子制御装置の概要、構造、機能を理解する。</li> </ul>						
<b>3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>①エンジンの潤滑装置の概要、構造、機能について理解できる</li> <li>②ガソリンエンジンの冷却装置の概要、構造、機能について理解できる</li> <li>③エンジンの燃料装置の概要、構造、機能について理解できる</li> <li>④エンジンの吸排気装置の概要、構造、機能について理解できる</li> <li>⑤エンジンの電子制御装置の概要、構造、機能について理解できる</li> </ul>						
<b>4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する</li> <li>・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）</li> <li>・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。</li> <li>・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。</li> </ul>						
<b>5. 準備学習</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>3級総合の同一分野の復習を事前に済ませておく</li> <li>次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。</li> </ul>						
<b>6. 学修時間と単位</b>						
<p>本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。</p> <p>1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。</p>						

時期	2年A巡	単元	学科	教科名	エンジン整備A	
7. 業概要 (時限ごとの主な授業内容)					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	潤滑装置 冷却装置	循環、油圧制御、オイル冷却、冷却装置概要、ファンクラッチ、電動ファンの構造、機能			二級自動車整備士 (総合)	各 1
2	冷却装置	電動ファン回路説明、電動ウォーター・ポンプ、冷却装置の整備			授業ノート	人数分
					授業進行用投影資料	
3	燃料装置	概要、フューエルポンプ・コモンレール構造、機能、差動			科目別標準問題	各 1
4	燃料装置	コモンレール構造、機能、作動、センサ				
5	燃料装置	インジェクタの構造、作動				
6	級排気装置	概要、構造、機能				
7	電子制御装置	概要、センサの構造、機能、作動				
8	電子制御装置	センサの構造、機能、作動				
9	電子制御装置	センサの構造、機能、作動				
10	電子制御装置	センサの構造、機能、作動				
11	演習1					
12	演習2					
13						
14						
15						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						